

## 神奈川歯科大学学位規程施行細則

(昭和 51 年 4 月 1 日制定)

(論文の提出時期と審査の順序)

第 1 条 神奈川歯科大学学位規程(以下「学位規程」という。)第 4 条第 2 項及び第 8 条第 2 項の論文の提出時期は、随時とする。また論文の審査は受理の順序による。

(大学院単位取得退学者の論文提出)

第 2 条 大学院単位取得退学者の論文提出については、別に定める。

(研究歴)

第 3 条 学位規程第 8 条第 1 項に規定する研究歴は、6 年以上とする。

2 前項の研究歴は、平成 24 年度入学者及び採用者から適用する。

3 前各項の研究歴は、次の各号に該当するものでなければならない。

(1) 大学の専任の職員として研究に従事した期間

(2) 大学院を退学した者にあつては、大学院に在学した期間

(3) 研究生として在籍した期間

(4) 大学院教授会が前各号に掲げるものと同等以上と認めた方法により研究に従事した期間

4 歯学及び医学以外の出身者の場合は、大学院教授会の議を経て、別に定める。

(提出書類)

第 4 条 学位規程第 3 条第 2 項の 規定により学位の授与を受けようとする者は、指導教授を経て、学位論文審査願・学位論文・参考論文・論文目録・論文内容の要旨及び履歴書・単位修得証明書、公聴会修了書、課程記録ノート、その他必要書類並びに学位審査手数料を添え学長に提出する。

2 学位規程第 8 条第 1 項の 規定により学位を請求する者は、指導教授又は推薦教授を経て、学位請求書・学位論文・参考論文・論文目録・論文内容の要旨・履歴書・最終学校卒業証明書・戸籍抄本・研究歴証明書及び本大学院研究科委員 1 名以上の推薦書、公聴会修了、その他必要書類並びに学位審査手数料を添え、学長に申請する。

(資格審査)

第 5 条 学長は、前条の規定により学位の請求があつたときは、大学院学位審査運営委員会において資格予備審査を行い、大学院教授会において審査する。

(審査委員会)

第 6 条 審査委員会については、別に定める。

(論文審査)

第 7 条 審査委員は、協同して論文の審査に当たる。審査に必要があると認める場合は、関係者の出席を求め質疑を行うことができる。

2 学位申請論文は、原著論文、まとめ論文、テーシスの何れかとする。

(語学試験)

第8条 審査委員会は、学位規程第3条第2項による学位請求者に対し、論文の予備審査終了後、語学試験を行う。試験の期日及び方法は審査委員会が決定し、これを行う。

(最終試験)

第9条 審査委員会は、学位請求者に対し、論文審査終了後、最終試験を行う。最終試験(口述及び筆答)の期日及び試験の方法は審査委員会が決定し、これを行う。

(報告)

第10条 審査委員会は、論文予備審査及び第8条の試験並びに前条の最終試験結果について報告書を指定日までに研究科長に提出しなければならない。

(学位論文等の配布)

第11条 研究科長は、学位授与に関する大学院教授会の開催前10日までに、前条による審査の結果報告書、その他の資料を添え大学院教授会構成委員に配布する。

(論文最終審査)

第12条 学位論文最終審査は、審査委員の報告をもとに学位授与の可否を決定する。

(その他)

第13条 この細則の変更は、大学院教授会の議を経なければならない。

附 則

(施行期日)

第1条 この細則は、昭和51年4月1日から施行する。

2 この細則は、昭和63年4月1日から一部改正実施する。

3 この細則は、平成8年4月1日から一部改正実施する。

4 この細則は、平成12年4月1日から一部改正実施する。

5 この細則は、平成17年4月1日から一部改正実施する。

6 この細則は、平成24年4月1日から一部改正実施する。

7 この細則は、平成26年4月1日から一部改正実施する。

8 この細則は、平成27年4月1日から一部改正実施する。

9 この細則は、平成28年4月1日から一部改正実施する(ただし、対象者は平成27年度以降の入学者とする)。

10 この細則は、平成29年4月1日から一部改正実施する(ただし、第9条については平成28年度入学者までは、従前の規程を適用する)。

(経過措置)

第2条 本細則は、平成24年4月1日から平成26年3月31日までの2年、経過措置として、平成17年4月1日改正の細則も効力を有することとする。